

様式第4号（第6条関係）

令和7年11月19日

富士見市議会議長 勝山 祥 様

会派名 21・未来クラブ
代表 斉藤 隆浩

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和7年11月8日～11月9日（2日間）
- 2 参加者名 斉藤隆浩 田中栄志 佐野正幸 小泉陽 松本剛
- 3 場所（行政視察地・研修場所）
法政大学市ヶ谷キャンパス薩埵ホール（東京都千代田区富士見2-17-1）
- 4 調査・研修概要
全国地方議会サミット2025

■1日目：11月8日（土）

<基調講演>

『『炎上の時代』の政治コミュニケーション』

廣瀬克哉（法政大学法学部政治学科教授）

「SNS」の影響が一人を選ぶ選挙で事例がみられるが、多数を選ぶ選挙においては世代によるメディアの選択の違いもありコミュニケーションの行動をとることが大事であるという講演であった。

<セッション>

【SNSと地方議会】

「『民意』はどうできていくのか？ SNSの影響と地方議会の方向性」

コーディネーター：廣瀬克哉（法政大学法学部政治学科教授）

米重克洋（株式会社JX通信社代表取締役）

「インフレとメディアシフトが起こす 日本政治の地殻変動」

大森翔子（法政大学社会学部メディア社会学科准教授）

「SNSが有権者に与える影響」

選挙においてメディアシフトの影響は顕著にみられる、健全な地方政治参加・民主主義に資するためにはリアルでの双方向の対話を継続できるかが鍵であるという発表が行われ、政治は誤情報による炎上と親和性が高いので、効果的に意見を届けていくことを心掛けるべきであるというセッションがなされた。

<セッション>

【AIと地方議会】

「活性化？ 不要？ AIで議会・議員はどう変わる？ 世界と日本の今と未来」

聞き手：河村和徳（拓殖大学政経学部教授）

報告：高選圭（福島学院大学地域マネジメント学科教授）

「AI時代の地方議会の変化と課題」

海外におけるAIを活用した議会の先進事例が挙げられ、AIを使うことが求められるといった発表が行われた。

<発表>

【最新議会改革】

「議会改革のトレンドと注目議会

～地域経営のための議会改革度調査から～」

山内健輔（早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員）

「できることからTTP（徹底的にパクる）」を提案し、議会における生成AIの活用状況、シティズンシップの推進、議会報告会の工夫などについて現状と課題の報告がされた。

■ 2日目（11月9日）

<セッション>

【地方議会の政策づくり】

「実践編①～子ども・若者との政策づくり～」

コーディネーター：林紀行

（日本大学法学部教授／早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員）

勝山祥（富士見市議会議長）

「富士高生の主張 in 富士見市議会」

笹田卓（浜田市議会副議長）

「主権者教育につながるこどもの意見の施策反映」

田口裕斗（NPO法人DAKKO理事）

「議員との対話で 民主主義の担い手を育てる」

選挙権は満18歳以上の約80%に拡大しているが、選挙権がない人たちの意見表明にどのような取組がなされているか、3つの事例報告が行われ、チーム議会として取組むべきというはなしがなされた。

<セッション>

【地方議会の政策づくり】

「実践編②～議会による政策づくり～」

コーディネーター：江藤俊昭

（大正大学地域創生学部公共政策学科教授）

外山利章（知名町議会議長）

「各常任委員会による町民起点の政策提言」

勝浦伸行（一関市議会議長）

「『政策提言等の実施に関する指針』の策定と実践」

高橋英昭（横須賀市議会政策検討会議委員長）

「政策形成サイクルの実践と事例紹介」

川上文浩（可児市議会議長）

「可児市議会政策サイクル解説」

地方議会の現状と課題認識について講義がされ、3つの事例報告が行われ、議会の政策サイクルについて、議会事務局の大切さのはなしがなされた。

<鼎談>

【北川正恭早稲田大学名誉教授LM最終講義】

「議会改革と北川正恭。足跡を再検証する」

コーディネーター：千葉茂明

(公益財団法人日本生産性本部上席研究員)

廣瀬克哉 (法政大学法学部政治学科教授)

前田隆夫 (西日本新聞論説委員)

江藤俊昭 (大正大学地域創生学部公共政策学科教授)

北川教授が提唱してきた二元代表制の意義や、時代とともに変化してきた議会の存在価値を振り返った。

<講演>

「LM最終講義」

北川正恭 (早稲田大学名誉教授 元三重県知事)

議員、知事としての経験をもとに地方分権の変化、地方議会の在り方について述べ、議会全体として進めていく、チーム議会の大切さが発表された。

5 感想及びまとめ

今回参加したサミットは、SNSや生成AIによる影響、地方議会における実践報告、政策づくり事例、そして、議会改革を提唱してきた北川正恭氏の軌跡を振り返るといった、様々な発表を聴くことができた。

2日目には富士見市議会勝山祥議長が議会と富士見高等学校との協働事業の報告を行った。本市の取組を全国に紹介することとなり、他の自治体においても実施されることを期待したい。

地方分権一括法が平成12年に施行されてから25年が経過し、これからの地方自治を議会としてどのようにしていくべきか、議会改革に対する知見を得た研修であった。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管